

働きたい人みんなが働けるまちを目指して！

はたらくきずな

vol.21
2023.3.1

富士市ユニバーサル就労支援センターが発行する情報誌



新たに認定登録された協力企業の紹介

2023年1月19日現在

認定番号	企業名	業務内容
209	株式会社快明堂	介護事業
210	一ツ山産業株式会社	紙加工業、食品関係容器材料、紙ひも等
211	丸井製紙株式会社	白板紙の製造と販売、トイレットペーパーの製造と販売
212	株式会社ワタセン	クリーニング業
213	株式会社京王	紙製造業、パッケージ、加工紙製造
214	株式会社ハンザワ	飲食店経営、食品製造
215	アリメント工業株式会社	健康補助食品の製造
216	エム・ケイ・テック株式会社	検査ゲージ作成
217	四国パック株式会社	食品用紙容器の製造、企画、開発
218	株式会社アズ・ライフケア あずみ苑富士	介護事業(デイサービス、ショートステイ)

協力企業名は富士市のWEBサイトcity.fuji.shizuoka.jpに掲載されています

「トップページ > くらしと市政 > くらし・手続 > ユニバーサル就労 > ユニバーサル就労推進事業 認定協力企業」の、「認定協力企業一覧」のPDFデータでご覧いただけます



ユニバーサル就労は、企業の皆様の協力なくしては実現しません。日頃のご理解・ご協力に感謝しております。

ユニバーサル就労を推進するために欠かせないのが、雇用や就労体験の場を提供してくださる企業様の協力です。ユニバーサル就労に興味のある企業の皆様、ご連絡お待ちしております。

サポーター募集!!

富士市ユニバーサル就労支援センターではサポーターを募集しています。身近に困っている方がいたら是非「富士市にはユニバーサル就労支援センターがあるよ」とお声掛けをしてあげてください。

あなたが知ること
まわりの誰かが
知ることになります

■登録料無料
■年会費無料



富士市ユニバーサル就労支援センター 広報係

〒416-8558 静岡県富士市本市場432-1 フィランセ東館1階
TEL 0545-62-7520

メール▶fuji-uw@tokaido-sigma.jp WEBサイト▶https://f-uw.com

富士市ユニバーサル就労



CONTENTS

■利用者さんの声 ■ワークショップ開催 ■企業説明会 ■相談窓口連絡先

利用者さんの声 ～ユニバーサル就労支援センターを利用して

姉の飲食店を長年手伝ってきましたが、亡くなってしまいました。一人ぼっちになり寂しさが募りました。働こうと思いましたが、一般の会社勤めをしたことが無く、困っていた時に相談した知り合いから、ユニバーサル就労支援センターを紹介されました。

飲食店の手伝いが長かったので、「調理補助なら出来そうです」と伝えたところ、「デイサービスの調理を受託している協力企業がありますので、職場見学に行かれますか」とお話を頂き、参加しました。作業内容が確認できて、自分にも出来そうだったので応募し、採用されました。1か月勤めましたが、通勤に片道1時間かかりその負担で退職しました。退職後、知り合いから別のデイサービスを紹介され、採用されました。週2日調理補助の仕事をしていましたが、施設の経営者から介護の資格を取らないかと勧められ、初任者研修の資格を取りました。今は週5日の勤務で、調理補助と介護補助の仕事をしています。ユニバーサル就労支援センターが働きかけをくれました。

N.Kさん(60代)

私は持病の手術後に在宅で仕事をしていけるよう、イラストレーターでデザインコンペに参加していました。ただ、独学で始めたイラストレーターが軌道に乗るのは難しく、今の生活を変えたい、と思うようになっていったのです。元々持病があり、手術も受けた私が働くためには、勤務時間・環境衛生など様々な面で配慮していただかなくてはなりません。

そんなときユニバーサル就労支援センターの存在を知り、取りあえず話を聞いてみようと思ってきました。最初は緊張したけれど、担当支援員さんは私の病状・特性を細かく聞いてくださいました。うまく進まないこともありましたが、支援員さんの優しい粘り強い対応のお陰で、ようやく富士市民活動センターでの勤務に至ったのです。現在は勤務日数・勤務時間・重い荷物は避けるなど、私の体調を考慮していただきながら働いています。センターの支援員さん、私を迎え入れてくださった市民活動センターの皆様には大変感謝しております。

S.Yさん(40代)

中学卒業後、近所の工場にアルバイトで働きましたがすぐに辞めてしまい、それから約20年間引きこもり気味の生活を送っていました。就職しなければいけないと思っていた時に、富士市ユニバーサル就労支援センターのチラシを見て、自分にはここしかないと感じて、自ら受付窓口に出向いて支援を申し込みました。最初の3か月間はひたすらキャリア研修を受講し、社会に出るための知識やマナー、コミュニケーションについて学びました。分からないことは人に聞いていいんだとこの時初めてわかりました。ひと通り研修を受けて、最初に職場見学に行ったのが有限会社吉原介護センターでした。就労体験で明るく親切な職員が多くいて、ここが自分の居場所だと感じました。就労後1年半になりますがそれは今も変わりません。

I.Cさん(30代)

これまで何度か就職したことはありましたが、仕事が合わなかったり職場の人間関係などで仕事が長続きしません。センターでは、応募書類の添削や面接練習、研修などに参加しながら、自分の特性についても学びました。特性によってストレスを溜め込みやすく感情コントロールが上手く出来なくなることを一緒に学び、対処方法などを教えてもらいました。そんな中、一つの協力企業で職場見学、就労体験をさせていただきました。自分のペースで出来ることや、仕事内容が自分にも無理なく出来そうだと思い、就労を希望しました。当初は自分の希望とは異なるパート社員という話で少し躊躇しましたが、まずはこの会社で頑張ってみたいと思いました。

パート社員として入社し、今は正社員として働いています。自分のペースに合わせて丁寧に教えてもらえる安心感があり、少しずつ任せてもらえる仕事も増えてきました。今はスキルアップのためのプログラミングの勉強をしながら、やりがいも持てて楽しく仕事をする事が出来ています。

Y.Kさん(30代)

■ 相談窓口連絡会

関係機関との連携の大切さ、繋がる機会を増やしていきたい

12月20日(火)、富士市教育プラザにおいて、「令和4年度第1回ユニバーサル就労相談窓口連絡会」が開催され、富士市内の関係機関14事業所16名の方にご参加いただきました。

はじめに、富士市ユニバーサル就労支援センターの三好センター長が支援センターでの支援状況と8050問題についての講話を行った後、4つのグループに分かれグループワークを行いました。

グループワークでは、それぞれの事業所での8050問題に関する事例や現状などをもとに、様々な意見交換が行われました。

意見交換の中で、「ユニバーサル就労のような支援に繋ぎたい対象者はいるが介入するのが難しい」「どのように繋げて良いかわからない」などの他、「支援センターの就労支援の内容についてここまで深い知識が無かった。今回詳しい説明を聞いて勉強になった」「今抱えている事例が落ち着いたら支援センターへ相談したいと思った。連携できる機関があるのはとても安心」等、様々な意見が聞かれました。

支援センターでは、引き続き、関係機関との情報共有など連携を行いながら、支援を必要としている方と繋がる機会を増やしていきたいと考えています。

■ 企業説明会

第40回 富士市ユニバーサル就労企業説明会を開催しました

11月11日(金)、富士市役所5階第3会議室にて、「第40回富士市ユニバーサル就労企業説明会」を開催しました。今回の企業説明会はユニバーサル就労の推進にご理解をいただいた、富士市内5社の企業の担当者の方にご参加いただきました。

ユニバーサル就労の目的や経緯、支援センターの支援内容などについて説明をした後、ユニバーサル就労に積極的に取り組んでいただいているケンコーマヨネーズ株式会社静岡富士山工場部長若林敏和様から実際の取組内容についてお話をいただきました。

ユニバーサル就労と、誰もが働きやすいまちづくりにご理解とご協力をいただける企業様に向けて、2ヶ月に1回、こうした説明会を開催しています。



■ ワークショップ開催

自分の価値観を探究してキャリアを再確認するワークショップ

1月28日(土)、富士市文化会館ロゼシアター第1会議室にて、「自分の価値観を探究してキャリアを再確認するワークショップ」を開催しました。

富士市ユニバーサル就労支援センターの三好センター長が講師を務め、価値観ババ抜きを実施しました。「そもそも価値観とは何か?」という基本的な問いかけから始まり、カードを取捨選択していくうちに、自分が本当に大切にしている価値観が絞り込まれていく、というカードワークです。

時折笑い声も聞こえる和やかな雰囲気の中、トランプ感覚でゲームを楽しみながら、今まで自分が気づいていなかった価値観や他の参加者との違いなどを発見する時間となりました。最後に、「今日の気づきを今後はどう活かすか?」という課題を考えて、ワークショップを終了しました。参加者の皆さんにとって、自分らしい生き方を送るヒントとなれば幸いです。



～参加者アンケートより～

- 自分の気づいていない自分の価値観を知ることができた。ありがとうございます。あと、その際の思考プロセスが参考になった。
- ゲーム形式だったので集中しやすかった。同卓の方に励まし(アドバイス)をもらえた。
- 他の方の価値観にも触れて、大変勉強になった。
- 自分が思っていた価値観と、ババ抜きで選んだ価値観との違いが明確にわかり、今何をすべきなのか、改めてわかりました。

